

第5期宮前区区民会議第7回会議

第5期宮前区区民会議第7回会議

- 1 日 時 平成27年12月11日（金）午後6時15分
- 2 場 所 宮前区役所 大会議室
- 3 出席者
 - (1)委 員 宮崎委員長、川田副委員長、佐々木副委員長、青木委員、葛西委員、大槻委員、本郷委員、笹川委員、山田委員、黒澤委員、田辺委員、細谷委員、滝本委員、川畑委員、青柳委員、太田委員、佐々木委員、小田委員
 - (2)参 与 矢沢参与、渡辺参与、佐々木参与
 - (3)事務局
- 4 議 事
 - (1)審議経過報告①誰もがくらしやすいまちをめざす部会
 - (2)審議経過報告②みやまえ魅力探訪部会
 - (3)部会審議内容についての意見交換・質疑応答
 - (4)みやまえ区民会議フォーラム2016の開催について
- 5 その他連絡事項
 - (1)区民会議交流会について
 - (2)その他
- 6 傍聴者数 1人

午後6時15分開会

司会（竹花） それでは定刻となりましたので、これより第5期宮前区区民会議を開催いたします。進行を務めさせていただきます宮前区副区長の竹花でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、会議開催に先立ちまして幾つか事務連絡をさせていただきます。本日の会議開催に当たりましては、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき公開とさせていただきます。したがって、傍聴、報道機関等の取材を許可しておりますので御了承ください。また、会議録の作成に当たり速記者に同席をいただいておりますので、よろしくお願いいたします。

そして、本日、発言がございました皆様につきましては、後日、議事録の確認をお願いしたいと存じますので、よろしくお願いいたします。なお、確認後の議事録は区役所ホームページに掲載いたします。

また、傍聴の方々につきましては遵守事項をお守りいただき、本日の会議に関するアンケートに御回答くださいますようお願いいたします。

次に、本日の委員、参与の出欠状況につきまして御報告いたします。区民会議委員の皆様におかれましては、大木委員、鈴木委員、中里委員から御欠席の御連絡をいただいております。また、本日は渡辺参与に御出席いただいております。また、矢沢参与、佐々木参与におかれましても本日御出席いただく予定でございます。なお、添田参与、山田参与、飯田参与、持田参与からは事前に欠席される旨の御連絡をいただいております。

1 開会あいさつ

司会（竹花） それでは、議事に先立ちまして、区長の野本から一言御挨拶を申し上げます。

区長 皆様、こんばんは。きょうは本当に師走のお忙しい中お集まりをいただきまして、ありがとうございます。昼間はすごい天気でしたね。朝のうち大雨が降ったと思ったら、急に南風のぽつと青空が広がって、ああ、こういう季節の変わり目もあるのかななんて思っておりました。本当にお足元の悪い中、ありがとうございます。

皆様の熱心な御議論に支えられながら、この区民会議ももう第7回になりました。年内最後の区民会議ということになります。この間のそれぞれのくらし部会、それから、魅力探訪部会の成果がかなり新聞などにも取り上げられて、地域でも評判になっております。せんだって私も11月30日の魅力探訪部会の新しい取り組みのスタートの日と一緒に参加させていただきました。スマホをかざすと遺跡への案内をしていただけるということで、参加された方々はこの新しい取り組みにとっても関心と興味を持っておられる様子でした。また、その様子を伝えてくださるタウンニュースさんなんかの記事にも取り上げていただいて、こうした宮前の魅力がますます区民の方々の間に知られるようになっていったらいいなというふうに思っております。ユーズカフェのほうにもぜひ一度伺いしたいと思っております。こうした区民会議の皆様の取り組みが、区民が区民に伝えるといいますか、区民会議の皆様からの発信が、地域に関心を必ずしもお持ちでない区民の方の間にもこの宮前という地域の魅力をどんどん伝えていくことになるのかな、一番の力になっていくのかなというふうに感じております。今日の御審議のほうも楽しみにしております。どうぞよろしく願いいたします。

司会（竹花） 続きまして、お手元に配付してございます資料の確認をさせていただきたいと存じます。

表紙に本日の会議次第を記しておりますが、おめくりいただきますと、右側2ページには区民会議からのお知らせ、次の3ページ、4ページは座席表と名簿でございます。おめくりいただきまして、5ページ、6ページは今年度の主なスケジュール、7ページからはくらし部会の審議経過報告で、これが7ページ、8ページ、9ページ、10ページ、11、12ページまで続いております。次の13ページからは魅力探訪部会の審議経過報告でございます。こちらは13ページ、14ページ、15、16、17、18ページまで続いております。次の19ページ、20ページは区民会議フォーラムの開催についてということでございまして、最後、21ページが区

民会議交流会についてとなっております。右側、22ページは今後の予定ということでございます。以上が本日の会議資料でございますが、落丁等ございませんでしょうか。

それでは、これより第5期宮前区区民会議第7回全体会議を開催いたします。これからの進行につきましては委員長をお願いいたします。宮崎委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

3 議 事

- (1) 審議経過報告①誰もがくらしやすいまちをめざす部会
- (2) 審議経過報告②みやまえ魅力探訪部会
- (3) 部会審議内容についての意見交換・質疑応答
- (4) みやまえ区民会議フォーラム2016の開催について

宮崎委員長　こんばんは。それでは、早速ですが、これから第7回全体会議の審議に移らせていただきます。本日は大変お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございました。本日は、さきに開催された第6回全体会議以降の審議内容と取り組み状況等を中心に皆さんに御報告させていただきます。さきの全体会議でも報告したかと思いますが、2つの専門部会を設置しました。1つは、誰もがくらしやすいまちをめざす部会、通称くらし部会というのと、もう1つは、みやまえ魅力探訪部会の2つを設置して、それぞれの部会で議論を重ねてまいりました。きょうはその全容を各部会長から御報告させていただきます。まず、川畑部会長さん、よろしくお願いいたします。

〔パワーポイント使用〕

川畑委員　くらし部会の部会長の川畑です。よろしくお願いいたします。

まず、9月に開催しました第6回全体会以降のくらし部会の審議経過の報告をさせていただきます。

通称くらし部会、全体会以降、1回の部会を開催いたしました。部会のほかに今回のモデル的取り組みの現場として、馬絹地区のCafetimeマギヌさん、稗原のユーズカフェの2つの取り組みの現場の視察とか、打ち合わせ等を行ってきました。

くらし部会では、誰もが住みなれたまちでいつまでも暮らしていける地域をつくるために、地域の居場所が必要だというふうに考えております。この地域の居場所なのですが、地域住民の出会い・交流・憩い・活動の場、そして、2番目に、福祉・医療などの相談・見守り・つながりの場、3つ目に、地域に広く知られて、誰でも気軽に立ち寄れる場、そして、地域の地域による地域のための場という4つの場の機能を持つものというふうに捉えております。こうした場を宮前区内の地域で開設したり、ふやしていける、そういう手法・提案を考えてまいりました。

この地域の居場所をモデル的に開設する場所として、現在2つの区内の店舗を選定してお

ります。1つ目は、10月に菅生ヶ丘でオープンしたひえばらユーズカフェです。このカフェは、近隣7つの自治会と、地域包括支援センター、介護施設、障がい者施設、医療機関、小学校など7つの施設の代表者が参加した稗原ゆ〜ず連絡会が活動拠点としているコミュニティカフェ、これはどなたでも利用できるという、そういうお店のスタイルになっております。写真のとおり、ユーズカフェはこういう形でオープンいたしました。

まずこの連絡会では、イベントの企画、啓発活動、相談窓口など、地域の居場所の機能を果たしていこうという目的で運営をしております。写真は、10月5日、関係者を招いたオープニングセレモニー、ここでマジックショーとか、パフォーマンス、看板の除幕式なども行われました。

このくらし部会では、連絡会とユーズカフェの取り組みの過程を見守りながら、部会が考える地域の居場所の実現の手法、こうした取り組みを宮前区内に広げていく、そして、検証、分析を進めて、提案としてまとめていく、そういう考えでいます。

早速、現在行われている取り組みを御紹介したいと思います。

1つ目は、ボランティアカードの発行・配布です。稗原ゆ〜ず連絡会の諸活動には、ボランティアとして参加するとスタンプが1個捺印をされるというカードで、これを10個集めるとユーズカフェでドリンクが1杯サービスされると、そういう形をとっております。今後は登録制の検討などで、もっと地域で活躍していただける体制づくりなどを考えております。

稗原ゆ〜ず連絡会では、地域のイベントへの出張カフェ、あと健康講座の企画なども行われております。10月から12月にかけて実施した健康講座第1弾が「健康でいるためのコツを教えます」、これについてはとてもたくさんの参加者に来ていただいたということです。あした12日、これが最終日になります。これは稗原団地の自治会館で開催いたします。1月、2月には専門家、あるいは家族の介護経験者を招いて、認知症講座も予定しております。地域外の方でも、どなたでも参加できますので、ぜひ御参加していただきたいと思っております。今後は、これも結構声があったんです。「おとこの料理教室」なども企画を立てているところです。

もう1つが、2つ目のモデル的取り組みの実施の場となる、馬絹地区にあるCafetimeマガヌです。こちらは既にオープンしているお店なのですが、現状では地域とか福祉組織との直接的な関係がありません。ここは地域の多様な世代に親しまれて利用されている店です。こういう既に店舗としてできているお店、ここを実際にもう1つの場として検証していきたいと考えております。くらし部会が考える、ほっとやすらぎステーションの取り組みについて、この趣旨をオーナーさんにお話ししたところ、快く協力していただけるということになりました。

それでは、ほっとやすらぎステーションについての御説明をいたします。これは、介護、健康、財産など、生活上困ったことを気軽に相談できる場としての機能をお店に持たせるということです。お店のある地域、ここには宮前平の地域包括支援センターがございますの

で、そちらの協力も得ながら進めていくと。必要に応じて福祉とか医療の専門家、あるいは公的な施設、組織による支援、ここにうまくお店からつなげていく、そういう仕組みをしていこうというふうに考えております。

具体的には、店内に相談カードや福祉関係資料を配置いたします。写真のとおり、こういう1枚の名刺サイズの形のをテーブルに置いて、気軽にとっていけるというふうなスタイルで今考えております。こちらには地域包括の連絡先等々も書いていますので、直接電話してもよろしいですし、あるいは店舗の方々に声かけしても構わないということです。ここはお店がカフェですので、できる限りその雰囲気を変えない、そういったスタイルは維持しながらやっついこうというふうに考えております。

宮前平地域包括支援センターの広報誌などもテーブルとか入り口の情報コーナーのほうに置いていただいたりとか、支援センターの職員も気軽に立ち寄って、相談がないとか、そういうふうな場所にしていきたいと。そこが発信拠点だとか、情報が集まる、そういう機能を考えております。

今後の活動なのですが、今回、Cafetimeマガヌみたいな形でスタートしましたが、ほかにもこういうふうに店舗でやってみたいということがあれば、少しずつ協力の店舗をふやしていきたいと思っています。

包括センターは宮前区に7つあるかと思うのですが、宮前平の近くですから、それ以外の包括にも取り組みを広げていければというふうに思っております。

もう1つですが、現在、部会でモデル取り組みとして企画を進めているのが、ほっとやすらぎひろばです。これはお店を会場に、地域の人が楽しめて、来店のきっかけとなる、あるいは会話のきっかけとなる講座、パフォーマンス、そういう発表の場としてこのお店を活用するということです。お店の雰囲気がカフェですから、音楽家が集まるミニコンサートとか、そういうもので取り組んで、そこからきっかけをつくっていく。店舗に配慮しながら進めていきたいというふうに考えております。それ以外に包括の置かれている講座等を年間の中で計画されているのですね。その中でこの店舗でも合うような講座を出張開催というものも今後は考えていきたいと思っています。

宮崎委員長 川畑部会長さん、ありがとうございました。

それでは、引き続きまして、みやまえ魅力探訪部会の青柳さん、よろしく願いいたします。

青柳委員 魅力探訪部会の青柳です。今までの審議経過を発表させていただきます。

みやまえ魅力探訪部会は、前回の全体会議以降、専門部会としての開催は1回のみでありましたが、それ以外にモデル取り組みを具体化させるために、現地視察や個別の検討会議等を行ってまいりました。これまでにやってきた取り組みや検討の内容を紹介させていただきます。

部会の1つ目の検討テーマは、「まちの魅力にみちびき、つなぐ、新しいかたち」です。

宮前区の魅力的な資源に人々を導く案内や紹介を充実させるものです。宮前区にはたくさんの魅力的な資源がありますが、どこにあるのか、どんなものかわからない、一般市民に伝わっていないのではないかとことから、そこで資源に人を導き、魅力をわかりやすく伝える取り組みを検討してまいりました。

この課題に対する取り組み提案が「みやまえ魅力スポット寄ってこ！ガイド」です。区民の主要な交通機関であるバス停から、区内の魅力スポットへのアクセスを案内するものです。市バスの停留所に掲示いたします。ガイド上に掲載されたQRコードを活用することで、スマホなどに最寄りの資源へのアクセス方法、魅力紹介、周辺情報などが掲載されたインターネット上のサイトにアクセスすることができます。これまでの立て看板や解説版と比較して、設置コスト、情報量、情報更新のしやすさなどがメリットとして考えられます。

「みやまえ魅力スポット寄ってこ！ガイド」の検討経緯を紹介させていただきます。9月30日、10月2日に、2日間かけて、みやまえカルタから抽出した区内の魅力スポットに最寄りのバス停の現場を視察しました。改めて委員の目で資源やバス停の周辺環境やルート等を確認し、設置候補場所の絞り込みを行いました。

10月7日に開催された部会では、設置候補場所を6カ所に絞り込むとともに、デザイン、掲載内容の再検討を行いました。当初は青ベースのデザインでしたが、委員が目立ったほうがよいとの意見に考慮しながら、赤ベースのデザインにこのとき変更されました。また、赤にすることによって非常に目立つという、人目を引くという意図がありまして、これは今後ちょっとお話しいたしますけれども、バス停に張られたものが非常に目立った感じで、道行く人の目につくのではないかなと思います。

また、バスの時刻表やアクセスなど、新たな情報も加えられることになりました。

この結果を受けて、モデル版の製作が進められました。

そして、先月、11月30日、バス停馬絹神社から馬絹神社・馬絹古墳公園、また、バス停上野川から影向寺を案内する2つの「みやまえ魅力スポット寄ってこ！ガイド」が一般公開され、運用が開始されました。当日はこのことを記念し、実際にガイドを使ってまちを歩いてみる特別企画が開催され、区民の方やメディアの参加も得て、非常に好評でございました。このとき、先ほども区長さんのほうから話がありましたように、タウンニュースさん、あるいはイツコムさんが非常に興味深く質問もされてきましたし、一般で参加された方も新しい試みにこれからツアーが始まるということで、非常に喜ぶというか、わくわくした気分だということで、同行していただきました。

先ほども言うておりました、新聞にも掲載されたということですね。これは朝日新聞、東京新聞ですね。恐らくお目にかけていただいた方がいるかと思いますがけれども、自分自身も歩いた後にもう1度読み返してみると、なるほどなど。多分見ていただいた方も、新しい企画にちょっとわくわくされたような感想が持たれたかと思います。

そして、もう1つのテーマは、子どもたちの学習に役立つリーフレットの作成です。これ

までも区の歴史遺産や自然などをまとめた冊子やリーフレットはさまざまなものが発行されていますが、主に大人向けであったり、子ども向けであっても情報発信の一方通行のものがほとんどでした。これまでの資料は生かしながら、子どもの学習や多世代交流につながるものを検討してまいりました。

検討の結果、提案するのが「みやまえハテナノタネ・自由研究のMe!」です。これは地域学習や夏休みの自由研究等に活用できる資源紹介資料でございます。今現在モニターのほうに出ておりますものは、検討中のデザイン、あるいは掲載内容でございます。今後検討しながら、実際にできるものとして最終版が仕上がったときに、また新たにそれが公開されるようになります。

「みやまえハテナノタネ」には幾つかの特徴があります。まず、謎解き形式です。子どもの関心を喚起し、楽しみながら取り組めるものとなるよう工夫してあります。宮前区の資源にかかわる謎とともに、行ってみよう、聞いてみよう、調べてみよう、地図など、謎解きのヒントになる情報を掲載いたします。そして、夏休みの自由研究、地域学習での活用を意識して製作しております。教育熱心な保護者とお子さんと親子で楽しんだり、学校の教育現場で活用していただけることをねらっております。

行ってみよう、聞いてみようで、資源の現場へ誘ったり、現場で活動している市民活動団体、関係者を紹介しております。このことで、地域での多世代交流や市民活動への参加へつなげることも担っております。

これは大きさ的には、ポケットサイズで持ち運びやすいサイズで製作してあります。A3判を八つ折りにしたA6判サイズになる予定でございます。

さきに紹介した取り組み、「みやまえ魅力スポット寄ってこ！ガイド」との連携も図りながら、ガイドによってルートが紹介された資源を謎で取り上げることで、両方の取り組みの相乗効果もねらっております。

10月7日の第8回部会では、取り上げる資源の検討を進めました。その結果、ハテナノタネの試行版として、2種類の企画を進めることとなりました。1つ目は、「みやまえ6つの謎」編です。等覚院、影向寺（橘樹官衙跡）、とんもり谷戸、南野川ふれあいの森、平瀬川、馬絹古墳公園などの6つの資源を取り上げ、1つずつ謎を設定、掲載するものです。

もう1つは、「水沢の森」編です。水沢の森の自然を題材に6つの謎を設定するものです。

11月17日には、部会内の有志メンバーでチーム会議を開催し、さらに企画を進め、現在は、取り上げたい資源にかかわる団体や施設の方々に協力依頼や掲載内容に関する情報提供をお願いしているところでございます。年度末の3月までに得られた情報や協力内容から、できる内容で試行版を製作したいと考えております。

宮崎委員長 青柳部会長さん、ありがとうございました。これから両部会長の発表に対する質疑応答ということで、どなたか御意見のある方、挙手をお願いします。

大槻委員 今、両部会でいろいろ非常にすばらしい成果を発表されたわけでありましてけれども、どちらの部会もそうなのですが、最初のくらし部会は、居場所として、ユーズカフェ、それから、Cafetimeマガヌとか、そういうところを開拓したわけでありまして。前回は質問したと思うんですけども、今後それをどんどん広げていくためには一体どうするかと。私が参加しているこちらの魅力探訪部会も同じなんですけれども、この辺、第6期でそれを引き継いでやっていくという方法、これもあろうかと思うのですが、これは第6期の方々の取り組みにも関係すると思うんですね。やはり必要なのは、市民団体とか何かをつくって、これを継続的に取り組んでもらうような取り組みですか、そういうところを形づくっていかないと、せっかくの成果が続いていかないのではないかなと。例えばこっちのハテナノタネも、いろいろ学校にPRしていくような活動もしないといけない。そういう継続的に取り組んでいくような市民団体とか、そういうのを今後つくり上げていくことも大きな課題ではないかなという、両方に対する我々取り組んだ課題かなというふうに思っております。意見として。

宮崎委員長 どうもありがとうございました。どなたか今の意見に。川畑さん。

川畑委員 せっかくこういういい機会を設けながら、これから地域包括ケア、そういうコミュニティをどうつくっていくかという場所づくりというのは、やり始めて、これは継続していくのは大事だと思っています。それは提案として上のほうに上げる、区のほうに上げるのですけれども、そこの働きかけもお願いしながら、おっしゃるように民間団体を、具体的にはどのような働きかけがいいかというのはまだ話し合いもしておりませんので、必要性はあるのかなというふうな感じはしております。

青柳委員 先ほどの大槻委員のお話の中に、今立ち上げたものが一時的なもので終わるのでなくして、私たちの魅力探訪部会のほうでも、区内だけに終わらせるような形でなく、以前にもお話がありましたように、宮前はよいところだということで、外から来てまちを歩いていただける、また、区内の方が、こんなところもあったということで、まちの中を歩いてもらえる、そういう形でまちが活性化していくこともねらいの一つになっておりますので、成果一つにしても、張ったら終わりというのではなくして、これも掲示披露的な形で、どこかではがされたとか、そういうこともあれば、張っただけではなくして、それを管理しながら、新たなところでどんどん広めていける、そういうことも含めて、この部会だけで終わるのでなくして、今後の大きな発展性のもので、他区もやっていないような新しい形でありますので、宮前区内全体がそういうような形で動けるような一つの委員会というのですか、そういうのが継続されて、次世代につながっていくような仕組みも非常に大切だということで、今後、部会のほうでもそういうものを含めて検討していく課題だと思いますし、また、最初の取っかかりのときにもありましたように、立て看板だとか、表札も必要だというところも今までの審議の中から出てきておりますので、そういうものも含め、今のスマホのデータのアプリもどんどん高めながら、スマホを歩きながら見るのではなくして、立ちどまっ

て、スマホ歩きですか、この間のツアーの中でも注意としてしておりましたので、そういうことも含めながら、次世代にすばらしい宮前が発信できるような仕組みをつなげていけたらいいかなと思います。これも部会の中で今期まだ幾つも残っておりますけれども、そういう形で課題を検討しながらつなげていければと思います。

田辺委員　くらし部会の田辺です。今回私どもは限られた時間の中で提案させていただいたのは、実際にカフェを運営されているオーナーさんのお力を頼ってやっている面が確かにあるんですね。しかし、まだ我々、部会の中で十分話し合っていないんですが、そういう一部の篤志家といいますか、一部の方々の善意だけに頼って果たして宮前区全体でこれがうまくいくのかというと、私は甚だ疑問に思っております。ただ、今回、我々は直接関与していませんが、既にいろいろな芽が出ていることも皆さん御存じだと思いますし、土橋カフェとか、あるいはかわさき記念病院の中にもカフェがあります。私ども、見学しました。それから、きょうのタウンニュースか何かを見ましたら、東有馬団地のほうで、カフェという言葉は使っておりませんが、サロンという言葉で、そういう自発的な動きもあるんですね。ですから、これからの課題はそういう芽をいかに育てていくかということになると思います。ただ、簡単ではありません。必要なものは、人と場所と、それから、少しお金が必要だと私は思います。人のほうは市民活動団体なり、あるいは自治会・町内会さんにやっていただかなければしょうがないのですが、場所ですね。自治会とか、団地の場合は集会所とかありますけれども、そうでない地域はどうするのかという問題が依然としてあると思います。そういう意味では、私は個人的な意見ですが、やはり空き地の利用ということで、これは行政にかなり知恵を絞っていただかなければいけないかなと思っております。

それから、人と場所と、あとお金ですね。これも実は簡単ではありません。私ども、見学しました、生田の近く、三田にありました。あそこは実はいまうまくいかなくて閉鎖しちゃったか、閉鎖するかという、要するに赤字なんですね。実際にそこで運営されている方々はほとんど無給のような状態で、はっきり言って経営としては成り立たないということがあるので、すね。ですから、その辺の課題もどんな方法がいいのか、資金をどうやって集めていくのかという課題もありまして、まだまだ多くの課題が残っているということの一つ申し上げておきたいと思います。

宮崎委員長　ありがとうございました。ほかにどなたか、お願いします。

小田委員　今、田辺委員が発言されたことの中に、お金の件が出てきたのですけれども、私も運営資金のことについてちょっと御質問したいなと思っております。8ページに、「稗原ゆ〜ず連絡会は、参加団体からの賛助金や出張カフェの売上金などにより運営されていますが」、あと、地域のボランティアさんたちの協力を得て運営しているということで、これはやはりボランティア活動としてもすばらしいなと思うんですけれども、利用者さんは無料で利用しているのですかしら。少しはお金をいただいているのですかしら。それから、とてもいい内容がたくさんありまして、これから利用者さんがふえてくるということもありますよ

ね。私、冊子でしかよくわからないので、ちょっととんちんかんな御質問をすることになるかもしれないのですけれども。内容の中で、「地域の方の手作り料理による立食パーティ」、ポイントがたまとドリンクのサービスが受けられるとか、そういったことも、地域の方の手づくりのお料理といたら、地域の方が御負担するという、お料理はお金がかかるのですけれども、そういったところ。あと、ドリンクのサービスとか、そういったものも、全て参加団体からの賛助金とか、寄附金とか、出張での売り上げとか、そういったもので賄っているということでしょうか。

川田副委員長 小田委員のクエスチョンの部分というのは、これは実は既存のカフェとタイアップしてやっていく上では非常な課題になっております。というのは、連絡会の中で拠点にしてくださいということで、ユーズカフェというのは本当に普通の喫茶店なんですけれども、地域コミュニティカフェとしてやってくださいということで、一緒にスタートした形になっているのですね。チラシのほうも7自治会のほうに各全世帯に1枚ずつ配らせていただいたのですが、皆さんが普通の喫茶店ということがわかっていないんです。福祉的な面を出してしまっているものですから、どういうふうにして使ったらいいのか、どういうときに行ったらいいのかということをよく聞くんですね。だから、行けないみたいな感じで。でも、本当に普通の喫茶店のオーナーに協力していただいて、私たちの拠点の場所として、いろいろな福祉の情報などを置かせていただいたり、それから、何かあったら私たちのほうで相談に乗りますよということをやっているところなのですね。

今、小田委員が利用者という言葉を使ったのですが、お店に来る方はお客さんです。利用者はおりません。資金につきましては、14団体ありますけれども、学校とか、老人いこいの家とか、公的機関からは分担金はいただいておりません。そのほかは1万円ずついただきまして、社協の助成金もいただきまして、あと、社協の助成金は、これからの資金づくりとして、出張カフェをして、そこで資金を集めようということで助成金をいただいたわけですが、それで今現実やっています、今そんなにお金に困っている状態ではないんですね。というのは、カフェはあくまでも拠点なのですから、連絡会というのは、そのほか、いろいろな講座とか、イベントとか、そういうことをやるのですけれども、それも一切お金をとらないでできるんです。というのは、ここには14団体いると言いましたけれども、施設とか、団体とかが7団体おまして、この方たちに協力していただいておりますので、そこから例えば講師をお願いするにしても、お金は発生いたしませんので、そういう面では、こういうふうに連絡会にしたほうが、いろいろな面で、人脈もスムーズに動きますし、それから、金銭面でも費用がかかるということもありませんし、こういったよさもありますよという、1つのモデルになるのかなというふうに思っているのですね。お答えになっていないですかね。

川畑委員 田辺委員からあったのですけれども、店舗を構えるとどうしても家賃等々発生するわけですね。家賃をどうペイしていくかというのは大きな。人件費の問題はボランティア

を使ったりとかしていますね。もちろん人件費も出ないわけですよ。我々、2つのタイプのコミュニティカフェは、店舗型なのです。取り組んだばかりですので、そこが本当に運営体としてやれるのかというのは、今後あと数カ月、あるいは数年見ないと本当にわからないというところですね。実際、みた・まちもりカフェのほうは大学の助成金でやっているのです。そこで運営されているものですから、そこが実は閉じると。助成を。今までそれに頼っていましたから、店舗も閉めざるを得ないという状況を店舗主の方は言っていました。だから、収益形態を飲食のほうにとりながら、あとはコミュニティの運営をどうしていくかというのは別の課題で考えなければいけないと思います。

川田副委員長 今回、くらし部会のほうで既存のカフェをモデルにしましたのは、私たち、くらし部会のほうで視察いたしました、今言った、みた・まちもりカフェとか、それから、すずの家とかのお話を聞きまして、本当に家賃なんかにとっても困っている。やりたくてもできない状態になっていくのではないかとということで、それを1つの課題として考えまして、じゃ、お金がかからないようにどうしたらいいのかということで、既存のカフェを拠点にさせていただいて、私たちはお金はありませんから、ボランティアという労力で協力いたします。そのかわり、水道光熱費とか、店舗の会場使用料とか、そういうのは無料にしてくださいという感じでやっているんですね。できましたら自治会とか、小さいところで、そういったところがたくさんできるといいんですけども、実際、大きい自治会でも集会所のないところもあったりして、集会所を使ってやることができなかつたらどういうふうにしたらできるのかという話で幾つか出たのですけれども、そういうのは今回は取り上げさせていただいたわけなのです。

小田委員 ありがとうございます。そうしますと、連絡会ということですので、ここに参加する団体等がこれからもっとふえるという可能性もありますかしら。そして、一緒にやるところがもっと大きな規模でさらに規模を拡大して、金銭的な部分も、そうすると、かなり問題が解決されていくような展望を私は今の御説明で感じたんですけども。

川田副委員長 この連絡会というのは、実は福祉の取り組みというのは、大きなところではなかなかできないと思うんですね。やっぱり小さい範囲。ですから、地域包括支援センターは中学校区に1つですけれども、その中学校区には小学校が2つから3つありますね。これは小学校によってカラーというのが違いますので、そういう面では小学校を1つの地域として考えたほうが、より深く福祉のほう、広められるのではないかとというふうに思っているんですね。この連絡会はあくまでも稗原地域の連絡会ですから、地域に所属しているところになります。ただ、そこから、これはもっといろいろな方たちにお話を聞いていただいたほうがいいねというのは、どうぞ、どうぞ、来てください、でも、連絡会はその方たちだけ。というのは、地域によってやっぱり特徴が違いますので、稗原ではこれはできるけれども、ほかのところではなかなかできない。じゃ、その地域性を見て、じゃ、どういうふうな取り組みをしたらいいか、その地域性に合った連絡会、仮称ですけれども——的なものをつくって

いく必要があるんじゃないかと思うんですね。ですから、この連絡会にほかの人たちが入るといえることはないです。これ以上大きくするということはないです。

宮崎委員長 どうもありがとうございます。ほか、どなたか、御意見はありますか。

大槻委員 この全体会議は、きょう、第7回で、第8回で終わりですか。2月ですね。それで、第1回目のときにもいろいろ話をしたし、それから、10月7日の探訪部会の際の最後にもちょっとお話しさせていただいたのですけれども、区民会議というのは地域の課題、区の抱えるさまざまな課題を見出して解決していくというようなのが自治基本条例の22条だということを毎回申し上げているのです。それに関連して、今回取り組んできた課題、私も第4期からやっているわけですが、それ以外に、毎回申し上げますような長期的な課題というものをごどういうふうに取り扱っていくかということは、10月7日のときにもいろいろお話しして、企画部会でどういうふうに取り扱うのか検討していただきたいということを強く要望申し上げたはずでございますけれども、その企画部会で本当にそれを検討されたのかどうか、あるいは第8回の最後のところまでにその辺ごどういうふうに取り組んでいくべきかということをごまとめるのか、その辺をお伺いしておきたいということでございます。

宮崎委員長 今おっしゃられた大槻委員さんの御意見ですが、先般も何回か話したかと思うのですが、長期的な観点、視点になると、どうしても区民会議の課題とちょっとニュアンス的というか、本質的にも異なるような部分があるので、それはそれで別の形でということで私は考えていたのですけれども、その辺を1度、次回か、企画会議で皆さんの御意見を伺って、それでまた対応するなりと思っております。

大槻委員 特にこれから少子高齢化であるとか、それから、川崎市全体で考えたときでも、あるいは宮前区の中においても、地域の格差というのは広がってきているのではないかと思うんですね。そういうようなのは都市計画としてやはり大きな課題だと思うのですよ。そういうのはもちろん行政で考えるのですけれども、市民として、ごどういうような形でそういう取り組みに対して意見を申し述べるかごどういうようなところでは、区民会議というのは1つの場ではないかなごどういうふうに思っていたわけなのですが、それ以外にそういう取り組みをどうするかごどういうことをぜひ企画部会で検討をお願いしたいごどういうふうに思います。

宮崎委員長 わかりました。ごどういう方向で、次回か次々回、一度ごどういう話をさせていただければごどう思います。

ほかにどなたか御意見。なければ、きょう、参与の方、市議員の方が何人かお見えなので、先生のほうから一言二言、お話しいただければごどう思います。

渡辺参与 皆さん、こんばんは。市議員をしております渡辺あつ子でございます。きょうは活発な御議論を聞かせていただきましてありがとうございます。

私もカフェの話を聞いていて、実は先日、藤沢市に行きまして、縁側事業という、御高齢の方の集まる、ごどういう事業をしているのですね。まさに地域の居場所事業で、今お話に出たカフェのことをやっけていらっけるのですけれども、藤沢は実はここにお金を出している

のです。運営費ということで、来られる人数に応じてお金を出しているのですが、ただ、中で活動していらっしゃる方は皆さんボランティアなのですね。ですから、今いろいろ出たお話と重なるなど思いながら、継続性が課題ですというふうにおっしゃっていましたが、だから、運営面では安定していても、ボランティアで毎日来ることにはやっぱり限界があるのかなというのを聞いてきたものですから、きょう、まさにそこが大きな課題なのだなど思いながら聞いておりました。

これから子ども文化センターと老人いこいの家の使い方も変わってくるので、こういう場所を、残念ながら中学校区なのですけれども、生かしていければ、運営の面では少し安定するかなと思うのですが、そこも区民会議の皆さんの中の議論から提案をしていければいいかなと思っております。きょうはありがとうございました。

宮崎委員長 どうもありがとうございます。それでは引き続きまして、矢沢参与、お願いします。

矢沢参与 皆さん、こんばんは。すばらしい議論、また、成果の御報告、ありがとうございました。私もお聞きしていて、先ほど人と場所とお金の部分の話が出ておりましたが、その話を聞いていてぱっと思いついた部分でお話するところでは、ことしの5月に、川崎市とぐるなびが地域活性化に関する協定を結んだんですね。実際その内容をぱっとそらんじて言うことはできないのですけれども、とにかくぐるなびとか、大きな会社が地域の活性化のために頑張っている企業を積極的に応援していく、そういうのが基本的な方針で協定が結ばれたわけです。例えばかわさきそだちという農作物を使っているお店をぐるなびでもどんどん注力して取り上げていこう。それ以外にも地域活性化にかかわることがたしか含まれていたというふうに記憶していきまして、まさにユーズカフェみたいな、地域コミュニティを大切にするカフェを1つの活性化の題材として取り上げていただくことも、相談次第ではできるのかもしれないなということのを頭に思い浮かべておりました。さまざまな形で、今ある制度とか、資源というものを有効活用して、少しでも課題に対して解決できればなというふうに思っております。

きょうは本当にすばらしい御意見をありがとうございました。

宮崎委員長 どうもありがとうございます。もう1方、佐々木参与。

佐々木参与 皆様、こんばんは。佐々木でございます。済みません、今到着したばかりで、皆さんの議論をちょっと伺ってからお話しさせていただければと思います。申しわけありません。

宮崎委員長 それでは、この後、本年3月に開催予定の区民会議フォーラムのことについて事務局のほうからお話をお願いします。

事務局（岩下） それでは、御説明させていただきます。資料の19、20ページをごらんください。区民会議では、毎年度の終わりにフォーラムという形で、区民会議の成果、取り組み提案等を、より多くの区民の方に知っていただくということでフォーラムを開いております。

す。今年度の年度末、どのようなフォーラムを開くかというのを、そろそろ方向性を決めないといけない時期に来ているかと思います。19、20ページに、とりあえずきょうお話し合うためのたたき台案を事務局のほうでつくってまいりました。こちらを説明させていただいて、御意見をこれからいただければと思います。

それでは、19ページからですが、まず、開催の目的、これは確認になりますが、区民会議の活動、取り組み等を広報、PRしていこうということ、それから、2つ目ですが、今回特に取り組み提案として、カフェの取り組みですとか、いろいろな提案を実験的に行っている部分もありますので、それを参加者の方に体験していただいたり、それに対する意見を伺えるといいのではないかと、それが2つ目の目的になるかと思います。

次に、開催の日程ですが、前回も実は日程をお話ししたのですけれども、今のところ3月12日（土）もしくは13日（日）ということかどうかという案になっております。この両日に関しては、その下の今考えている会場であります区役所の大会議室、今皆さんがいらっしゃる会議室と、向かい側の3つの会議室等も、使い方はまだこれからですが、一応使えるような形で、この2つの日程に関しては押さえているということです。できればきょう、皆さんの御都合等も伺って、日程は決められればなと思っております。

次に、企画の内容です。今までのフォーラムでもそうでしたが、まず区民会議の説明ですとか、今期のこういう提案をしたいと思いますという発表の時間は、余り長くなってもあれですが、30分ぐらいはかかるのかなというところで入れております。それから、最後に、全体でまとめの時間も必要かなと。一番肝心となるのが真ん中の部分、2番の審議テーマの理解を参加者の方、また来ていただいた方とさらに深める企画ということで、ここで何をするかというのもきょう皆さんに御意見を伺って、詳細までいかなくても何となく方向性は決めておきたいところです。

それぞれの部会について、例えばということで案を考えてみました。必ずしもこれに限らなくても構いません。案としてお聞きください。19ページの下のほうにありますのが、まず、くらし部会の活動報告の案です。案1、ふれあいカフェの開催というのは、これは昨年度のフォーラムでやりましたように、例えばこの会議室をカフェ形式にして、来場者にカフェを体験してもらおう。例えば今回の取り組み、ユーズカフェやCafetimeマギヌのオーナーや参加者の方にも来ていただいて、お茶菓子を出したり、去年は区内の中学生の二胡の演奏をやりましたね。そういったパフォーマンスをやっている中で、和やかな中でカフェを体験していただくという企画が1つあるのではないかと。

2つ目の案ですが、これは区内カフェ関係者を招いて、情報交換、ディスカッションを集中的にしてはどうか。これは先ほど田辺委員からも御指摘がありました。実は区内で、サロンですとか、カフェという取り組みの芽はあちこちで生まれているのだよというお話がありました。例えばそういう方々に声をかけて、皆さんにできるだけ集まってもらって、実際どうなのと伺いますか、もっと広げていくにはどうしたらいいんだろうねということをお聞き

んで話し合っはどうかという企画が案2です。

案3は、それは区内に限らず、例えば区外から同じような取り組みをしている人ですとか、先進的取り組みをしていると言われていたようなケースの方をお呼びしてお話をお聞きして、その上で質疑をしたり、皆さんで話を進めるといいのではないかとというのが案3です。インターネットでコミュニティカフェとか調べていただきますと、コミュニティカフェのつくり方とか、本を出している団体ですとか、そういった講演をしている方がいらっしゃいます。限られた予算の中ですが、そういった中でお呼びできそうな方を探して、来ていただいて、話を聞きながら考えるというのが案3になります。

くらし部会については以上3つのような案を例として考えました。

20ページに行きまして、魅力探訪部会のほうです。案1は、地域資源の体験交流会。実は去年のフォーラムでも過去のフォーラムでも、バスツアーですとか、ツアー的なものを午前中に行き、午後、こちらの会議室で合流するという形をとらせていただきました。ただ、結構運営が大変な面もあります。せっかく今回、バス停の標示ですとか、ハテナノタネもこのままいくと3月までに試行版をつくるということで頑張っておりますので、そこで取り上げた資源に伺って体験をしていただくということです。その上では、今までツアー形式で何か所か回るという形式でやっていたので、時間もかかったのですけれども、例えば1カ所でももう少し掘り下げるですとか、この間の私も公開記念のときに参加させていただいたのですけれども、馬絹古墳で学芸員さんの話がすごく詳しくてよかったのですね。例えばそういった方を招いて、1カ所で集中的に伺うことが案1です。

案2も、これはガイドの利用や、謎解きの体験。これを区役所内でアレンジバージョン、特別バージョンをつくってやってみてはどうかというのが案2になります。これもどうしてこういう案が事務局から出てきたかといいますと、やはり現地に行くと運営が大変ということと、もう1つ、全体の一体感がもう少しあるとよいかということ、あとは、時間がすごくかかってしまうのですね。午前中ツアーに行き、午後帰ってきてまたやるということで。1つ模擬的に、ガイドでスマホを照らして情報を得て、その場所に行き、そこにいる人に謎のヒントを聞くというような体験をちょっと、身近な範囲で、区役所内でやってみてはどうかと。あと、ハテナノタネの謎解き体験なので、子どもを呼んではどうかということを書いてみました。

このような案として考えてみました。きょう皆さんに御意見を伺って、繰り返しになりますが、詳細までいかななくても、大体こんなことをやってみようかというところまできょうは決められればなと思っております。

その他の検討事項としましては、広報としましては、市政だより2月号等で掲載していく予定ですが、それ以外にも直接の協力団体をお願いするですとか、委員さんからの口コミ等も大きくなるかと思っております。

それから、これは必ずしも絶対つくらなくてはいけないということではないですが、過去

のフォーラムについては、参加記念品等も考えてきた経緯がございます。例えば25年度、26年度は宮前兄妹を使ったちょっとしたグッズをつくって配っております。こういったものについても何かアイデアがありましたら、きょう御意見をいただければと思います。

最後に、今後のスケジュールですが、きょう、日程と大体の企画の方向性、意見交換の結果、決定したいと考えております。それを踏まえて企画書を事務局のほうでも進めてまいりたいと思います。

それから、1月下旬には企画部会を開きまして、企画の詳細の検討や、チラシ等の作成、それから、2月中旬には全体会ということで、最後、こういった計画でやりますよということと役割分担等を確認という流れになるかと思います。ただ、企画の内容によっては、去年もそうでしたが、皆さんに有志の形で集まっていたいて、具体的に会議ですとか作業を行う可能性もあるかなというところです。

以上がたたき台としてこれから御検討をお願いできればと思います。

宮崎委員長 どうもありがとうございます。今のお話でどなたか具体的な提案というか、御意見がありましたらお願いしたいのですが。

大槻委員 魅力探訪部会のほうは、案1だと、ハテナノタネのところは取り上げられていないですよね。ですから、やっぱり案2がいいんじゃないでしょうか。AとBと両方やれますからということです。

宮崎委員長 ほか、どなたか御意見のある方がおられましたら。

事務局（岩下） 今の大槻さんの意見は、謎解きもやっぱり体験させようということかと思うんです。それからあと、この案に限らず、これとこれを組み合わせるといって御提案をいただいてもいいかと思います。

宮崎委員長 そうですね。その辺はここではなくて、企画部会か何かでやりますか。あるいはきょう全部出しちゃいますか。

事務局（岩下） 全部決めなくてもいいですが、方向性は大体これでいいんじゃないかというところは決めたいところです。

葛西委員 ハテナノタネなのですけれども、こちらの魅力探訪の看板のほうとリンクしているので、その紹介と一緒に、実際にお子さんたちを呼びたいなと思っているんです。子どもたちにじかに意見を聞きたいなと思っているので、子どもたちがいるということは、実際にその場に行ったほうが子どもたちとしては楽しいし、体験としてできるので、面倒くさいかもしれないのですけれども、現場に行って、看板を見て、タネの内容も聞いてというのをやった後に子どもたちの意見も聞けるといいなと。1カ所でも、そんなにいっぱい行かなくてもいいと思うんですけど。

宮崎委員長 どうもありがとうございました。ほかにどなたかもし何かありましたら。

川田副委員長 暮らし部会のほうなのですけれども、案2なのですが、区内カフェ関係者を招いてという。既に区内カフェ関係者の方たちというのは、いろいろなところを視察したりと

か、勉強しながらやっていたらよかった方だと思うので、別に区外の方を呼んでやらなくても、その方たちに集まっていただいて、現状とか、今後とか、そういうのを話すのがいいのかなと思いますし、また、自治会関係者を呼んで、自治会がすごく動いてくれると、一番大きな力じゃないかなと思います。町内会、全町連のほうも、そういう面ではふれあいの場所という、支え合いの場所、それはとても重大に考えていますから、今後そういった動きを見せていくと思いますので、そういう面で何でそちらの自治会ではできないのか、どういうことが問題なのかということ、宮前区としての話をしたほうがいいんじゃないかと思いません。

本郷委員 ハテナノタネの件ですけれども、これを今関係者に呼びかけてつくってもらっているわけですね。ところが、せっかく送ってもらったあの書類を見ただけでは全然理解できない。どういうふうなものをつくっていいのかわからないというような話がもう既に出てきているわけです。したがって、そういうふうな方たちのために、ここまで盛り上げてきたのだから、出向いて、それで、こういうものをつくりたいということ、きちっと説明したほうがいいんじゃないかと僕は思うんです。

卑近な例を挙げて申しわけないのだけれども、この日曜日のとんもり谷戸で忘年会をやる。そのときに例えばハテナノタネの対象となっている平瀬川とか、とんもり谷戸とか、それから、ここの野川の人たちも来るわけです。こういうところで葛西さんあたりが来て、こういう趣旨でこんなものをつくってほしいんだというふうに説明されると、非常にスムーズに行くのではないかと僕は思うんです。葛西さんが無理ならほかの方でもいいし、必ずそういうふうな方が1人来ていただいて、説明していただけたらなど。せっかくここまで来たのだから、最後に抜けちゃうとつまらないですね。

それとあと、もう1つは、今回のバス停にいろいろ仕掛けをした。これも本当は11月中にそういうようなことを仕上げて、11月中に何人かでもっと見て回って、それを1月に検証するとか、そういうふうな話がずれ込んだりして、肝心の委員による検証がどこか行っちゃっている。だから、今からでも遅くないから、1月にそういう企画をして、自分らのここまでやってきたものをしっかり自分らの目を見て、これで満足したものができたのかどうか、それと同時に、これを今期だけでやるには時間が足りないということもスタートのときからわかったわけです。だから、次の来期に向けて、コアメンバーは誰がやるんだということをある程度つくらないと、また尻抜けになっちゃう。今まさに尻抜けの瀬戸際にいるような気がします。ここだけはしっかり決めてほしいと思います。

宮崎委員長 大変貴重な意見、ありがとうございます。

川畑委員 私の意見としては、店舗型のコミュニティカフェ、幾つか確かにカフェというのは私も知っている限りあるのですが、実際の店舗を構えての成功事例というのは、調べて、レクチャーしてもらえるとありがたいですね。その後から宮前区内で実際やっている方々を集めていただいて、議論するという、そんな流れが1つできればいいのかなと思っています。

宮崎委員長 時間も7時半をそろそろ回ろうかとなっておりますので、こういう話はまた…

黒澤委員 今の暮らし部会の活動報告の中で、稗原ゆ〜ず連絡会の協賛団体の1つの自治会、菅生台自治会でございまして、そこで、ここのお話の仕方というのを、現在、稗原ゆ〜ず連絡会というのを10月初め、6日に発足いたしまして、現実、活動している。このことを区内でもっとこういう形でこういうふうになっています、これからこういうふうになりますよという宣伝をしていただくと、やれるような地域の方が、それでは、小学校区単位、あるいは中学校区単位の自治会の方々が集まって進めていけるかなというところ、これが1つ。

それから、もう1つ、区外の事例というのが、先ほどいろいろあるようですので、区外でもこういうところのやっている方が我々の参考になるようなお話があれば、それを話してもらい、そういう講演会みたいな、それを集める方々というのは、地域の代表の方が手っ取り早いです。地域の代表というのは自治会の会長なのですね。あるいは町内会の。そういう方に集まって、その方々の意見交換をして、彼らがわかっていくと、自分たちの自治会から進んでいきます。そういうところの活動報告の方向づけというのをそういうふうに持っていかれると、実務的に事例が出てくると思います。

宮崎委員長 どうもありがとうございました。

それでは、延々、意見が出てきそうですけれども、そろそろ7時半になりましたので。

事務局(岩下) 一応確認をさせていただきたいのですが、今まで伺った感じだと、暮らし部会のほうは、前回のよう、ただカフェでお招きして、おもてなししてというよりは、現場の方々を呼んで、現状ですとか、カフェを広げていくにはこれからどうしていったらいいんだろうということの話し合いを区内の方、それから、もしいいところが見つかれば区外のやっている方も招いてお話を伺う、さらに、そこに自治会の方もお話を一緒に聞いて、理解していただいたり、考えていただくような場をつくるという方向で考えるということでしょうか。それから、魅力部会のほうは、1カ所か2カ所でも構わないので、子どもをできれば呼んで、体験をした上で御意見を伺う機会としてこのフォーラムを捉える、そういった方向で企画していくということでしょうか。今のよろしければ、それで考えていきたいとします。それと同時に、今、本郷委員さんのほうから出たのは、それぞれの取り組みについて、協力をお願いする団体にもう少し丁寧などいいますか、出向いて理解していただくようなことですか、実験的な取り組みが実際どうなのかというようなきちとした検証を1回フォーラムの前にやらなくてはいけないのではないかと御指摘だったかと思えます。これは実は実際の区民会議としての予算として部会を開催できる回数というのはほぼなくなってしまっているかと思うので、有志の会になってしまうかと思いますが、それは皆さんよろしければ日程は事務局のほうでも連絡を取り合って調整をさせていただいて、設定するという方向がよいのかと思いました。以上でいかがでしょうか。あとは日程ですね。

川田副委員長　くらし部会のほうなのですけれども、実際今やっぺらっしやる方呼んでというの、宮前区の方でお話を伺うのだったらいいのですけれども、区外の方ということでしたら、もう少し話し合う時間をいただきたいと思ひます。実は区内でも実際やっぺらっし、自治会・町内会の協力というのがなかなか得られていないところがありますので、そういう面ではそこのところをもう少しつなげるようなお時間を持ったほうがいいかと思ひますので、そこはもうちょっと協議させてください。

事務局（岩下）　フォーラムの日程をできれば決められればと思ひます。

宮崎委員長　フォーラムの日程ですが、皆さん、土曜日か日曜日、どちらがいいのか。私はどっちでもいいですけど。

青柳委員　この日というの、昨年度はフォーラムをやっぺらっししたときに市民館でイベントをやっぺらっししていましたね。この両日というの、そういうようなイベントが前もって計画されているようなことはないんですか。

川田副委員長　あの日は日にちが変わりましたよね。同じ日じゃなかったと思ひます。だから、そのときに前もってチラシをもらったんです。本当はそれが同日が予定だったんです。だから、重ならないほうがいいですよね。

青柳委員　できるのであれば、先ほども葛西委員のほうからも話がありましたように、日曜日、一緒に歩いてもらえるようなあれがあればいいのかなという気はいたします。

宮崎委員長　日曜日がよければ日曜日だし。日曜日が嫌だという人。

事務局（秋山）　例えば団体とかでどうしても外せないという部分で関連する団体とか。結構年度末なので、いろいろと会議があろうかと思ひるので、そこだけは外せないと思ひますので。それであれば個人の皆様の調整になろうかと思ひます。

事務局（岩下）　日程はできればきょう。

宮崎委員長　日程はできたらきょう決めたいと思ひます。例えば3月12日の土曜日ですけれども、これでいいと言えぱ挙手していただけますか。日曜日じゃないと嫌だという人と、多分両方あるだろうと思ひますけれども。あるいはがらがらぼんで、どちらでもいいです。

事務局（岩下）　土曜日がだめな方。余りにも欠席の方が多いとその日は除外しないといけないので。12日の土曜日がだめな方はいらっしやいますか。

本郷委員　そういう言い方じゃないじゃないですか。一体誰を呼ぶのかということですね。子どもたちを呼ぶのだったら日曜日しかないじゃないですか。土曜日は結構塾に行っている。

事務局（岩下）　子どもを対象にするということですので。13日の日曜日でよろしいですか。日曜日でよろしい方。じゃ、日曜日で。

宮崎委員長　それでは、日曜日で決まりです。いろいろありがとうございました。

区民会議フォーラムも決まり、専門部会の2つの活動状況についても皆さんに議論、審議していただきました。ありがとうございました。今後は区民の目線から、暮らし向きの向上につなげ、また、その実現するための各種提案、情報発信などにつなげていければと考えて

おります。本日はこれをもって審議は終了させていただきます。長い間ありがとうございました。

ほか、事務局のほうで伝達事項その他がありましたら、ひとつよろしく願いいたします。

3 その他の連絡事項

(1) 区民会議交流会について

(2) その他

司会（竹花） 宮崎委員長、どうもありがとうございました。委員の皆様におかれましては、本日は活発な御議論をいただきまして、まことにありがとうございます。

ここで事務局より幾つか事務連絡させていただきます。

事務局（小山） それでは、企画課の小山から3点ほど事務連絡をさせていただきます。

資料の21ページをお開きください。まず、1点目の御連絡ですが、区民会議交流会についての御案内でございます。こちら、資料の21ページでございますとおり、昨年度と同様、各区の区民会議の委員の皆様の情報交換ですとか、連携といったことを目的に区民会議交流会が開催されます。日程といたしましては、2月3日（水）、会場はJR南武線の武蔵中原駅の前のエポックなかはらでございます。開会は18時からを予定してございます。つきましては、委員の皆様のお出席、出欠について確認させていただきたいと思っております。本日、皆様のお手元に封筒をお配りしてございます。この封筒の中に出欠表が入っておりますので、そちらに御記入の上、御提出をいただければと思います。ファクス、もしくはメール、電話等での回答でも結構でございます。また、当日、区民会議交流会に御参加いただける方につきましては、同封の自己紹介シートの御提出もお願いいたします。

続きまして、2点目の御連絡でございます。資料の22ページをごらんください。今後のスケジュールでございますが、ただいま申し上げました区民会議交流会と前後いたしまして、次回の全体会の開催を予定させていただきたいと思っております。日程といたしましては、2月の上旬を予定しておりますが、こちらにつきましても、あわせて委員の皆様のお都合をお伺いしたいと思っておりますので、封筒に入っております日程調整表に御記入の上、御連絡のほうをお願いいたします。また、その他の企画部会、専門部会の日程等につきましては、また別途調整をさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

3点目の御連絡でございます。先ほど黒澤委員のほうからもくらし部会の取り組み等をいろいろな方に周知をというようなお話をいただきましたが、川崎市のほうで発行しております市政だよりなのですが、こちらの新年最初の発行になります1月1日号の市政だより宮前区版で、区民会議の取り組みを1面で紹介する予定となっております。お手元に届きましたらぜひごらんいただければと思っております。

事務局から事務連絡は以上でございますが、あと特段、きょう事前に委員の皆様からの活動報告等についての申し出はなかったのですが、もしどうしてもこの場で、所属する団体や、地域での御活動などについて御報告したいというものがございましたらお願いできればと思うのですが、よろしいでしょうか。

青柳委員 過日、この場の席で広報させていただきました情報ラボの講座ということで、第1回から第5回まで開催させていただきましたけれども、参加者の意見が非常に好評で、今後とも個々にやっている方もいらしたみたいですが、そういうもので宮前の魅力で発信したいというような意見をたくさんいただきましたので、また宮前のよさがいろいろな意味合いで発信されると思いますので、この場で告知させていただいたということ、またそれが無事に終わったということもお話しさせていただきたいと思います。

事務局（小山） そのほか何かございますでしょうか。

佐々木副委員長 ちょっと活動の御案内で、資料はお持ちしなかったのですが、「かわさき市民しきん」という、市民活動を応援する寄附を集める仕組みが今度できまして、川崎市民の人が川崎市内のいろいろな活動団体を応援しようという取り組みです。先ほど特にユーズカフェさんとか、そういう関係で、資金集めが大変だということもありましたので、それにも活用できるんじゃないかなというふうに思っています。全国的に集めるというよりは、川崎市の市民が川崎市内の活動のためにという趣旨ですので、「かわさき市民しきん」で検索していただくと、ホームページが出てきて、そこから直接、少額でももちろんいいのですが、寄附ができるような仕組みがあります。クレジットカードも使えるような仕組みになっていますので、よければ皆さん見ていただいて、御案内いただければと思います。

事務局（小山） ほかに何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

5 閉 会

司会（竹花） それでは、以上をもちまして、第7回の全体会議を終了いたします。本日は長時間にわたりありがとうございました。お気をつけてお帰りください。

午後7時47分閉会